



英語を母国語とする講師による「キッズデュオ三鷹」の授業。子どもたちは真剣に聞いていた=東京都武蔵野市

学童保育に企業続々

学習塾・鉄道会社・水泳教室

月謝は高め 送迎や夕食も

小学生が放課後を過ごす学童保育事業に、学習塾など民間企業の参入が相次いでいる。利用料は公設より高めたが、夜遅くまでの預かりや送迎、学習支援など、これまでなかったサービスを提供する。背景には、従来の学童保育が保護者のニーズに応えきれない実情がある。

英会話教室や学習塾を運営する「入」(東京都中央区)は、英語を教えながら小学生を預かる「キッズデュオ」を全国15カ所で開く。教室内は日本語禁止。英語を母国語とするスタッフと遊び、英語のレッスンも受ける。

東京武蔵野市の三鷹教室、「I never... why not?」と先のクリスさんが次々に元気に「Play a video game」「I fight with my brother!」と答えていた。

小学生6年生約100人が登校し、

が登校。放課後になると、送迎バスが周辺の小立小へ迎えに行く。公設の学童保育と違って親の就労証明も不要。国守や、学童保育のない私立野市の公設学童の9倍程度。それ以外にも、施設維持費と

厚生労働省によると、市町村が把握している「放課後児童クラブ」(学童保育)は2011年、2万1千を超えた。自治体が設置して運営する公営と、自治体が設置して民間が運営する公設民営が4割つ、残り2割は民間が設置・運営する施設だ。

利用児童数は約8万人と、10年前の1・8倍に。一方、希望していても入れない待機児童数は、11年5月現在で7408人。自治体によって事業形態や申し込み方法が違いため、厚労省も正確な待機児童数をかきめていない。全国学童保育連絡協議会(東京都)によると、学童保育を利用する新1年生は保育所卒児児の6割に満たず、一層の待機児童も多くなっている。

開所時間にも、保護者のニーズに対応できていない。厚労省によると、午後5時以降も利用できる施設は全体の5%に満たない。学童保育は戦後、保護者や一部自治体が自主的に始め、98年から法制化された。ただ、事業の実施は自治体の努力義務にとどまる。

児童福祉法は、共働き家庭などのお

おやつ代が半分に200円かかると、フリタイムやおやつ

後、1時間ほど英語のレッスンを受けて、午後6時ごろまで過ごす。その後は親が迎えに来たり、送迎バスで帰塾に備えたり、午後8時半まで

延長でき、依頼に応じて夕食用の弁当も手配する。三鷹市の小学校に通う3年生の男児(9)は、「夏休みにアメリカへ旅行したけど、ちょっと英語をしゃべれたよ」と話し

た。同社経営戦略部の辻球一さんは「一定以上の所得がある共働き世帯の需要を見込んで

いる。フランチヤイスも含め、5年後には年間250カ所

施設足りず ■ 基準なく質様々 ■ 「行政手引くな」

所に増やしたい」と意気込む。東急鉄道の子会社で、東京と神奈川の15カ所で開催後の「キッズスペース」(東京都田代谷)は、学習塾運営の明光ネットワークジャパン(東京都新宿区)と連携し、4月に目黒区と練区の2カ所で開催「キッズスペース」PMB I.R.O.を始める。学校の宿題をしたりおやつを食べたりするほか、計算力を磨く講座なども受け入れている。水泳教室も受け入れている。子ども向けの水泳教室「陽菜スイミングクラブ」は2011年から、横浜市内で預かりを始めた。週1度、1時間の水泳教室を考案する。料金は3000円。午後7時までの利用で月2万円。10時まで無料で延長利用もできる。

おむつ10歳未満の子も、児童館や余技教室などで預かり、適切な遊びや生活の場を与えて健全育成を図る事業としているが、面積や職員配置の基準はなく、指導員の資格基準もない。このため、自治体や施設によって質のばらつきが大きい。

施設数の不足や開所時間への不満から、習い事の息合いが強い施設を運営保護者もある。一方で、公的助金を得ない民間企業が「学童保育をうたがう」に、特別条件は設けられていないため、提供内容や質はさまざま。今国会に提出が予定されている新たな子育て支援制度の法案をめぐる議論は、学童保育の最低基準を設けるかが検討されている。

学童保育について研究する放送大学の松村祥子教授(社福福祉学)は、相次ぐ民間参入について「高額の利用料を払える親は一部。放課後は子どもが形成の基礎になる大事な時間なのに、民間参入理由に行政が学童保育が手を引いてしまっている。払えない親は預け先がない。そのうえ高い監視している必要がある」と指摘している。(前田博輝、杉原里穂)